

日ごとに暖かさを感じられる季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

令和7年度 難病患者災害支援連絡会について

令和8年2月17日（火）標記ご参加を誠にありがとうございました。当日は静岡県健康福祉部医療局疾病対策課課長 小松栄治氏開会挨拶の後、講演・意見交換が行われました。

<講演>

テーマ：風水害に備えた在宅難病患者の事前避難入院について

講師：医療法人泰平会 城西クリニック 副院長 溝口 功一先生

内容：事前避難入院の意義と課題をご講義いただきました。

事前避難入院の理解促進として、避難入院の実施・コーディネーター・災害支援ネットワーク（医師）へ行った意識調査結果のご紹介がありました。今後の課題として

- 1) 補助人工心臓を用いている患者への対応
- 2) 給電方法とその確保
- 3) 費用負担の工夫
- 4) 避難経路短縮と避難時期の判断が提言されました。



<意見交換>

9グループに分かれて、以下のテーマを話し合いました。

テーマ ① 今回のテーマから感じた課題

テーマ ② 病院・保健所での防災訓練内容・改善点

話し合いで出された意見は、各グループでホワイトボードシートへ記載後掲示し、各自で閲覧しました。講演内容と同様の意見や被災状況の確認、連絡の方法、平時からの協働についてなどのご意見がありました。

＜実施後アンケート結果＞

回答数：50 （回収率・有効回答率 100%）

表一1 所属

選択肢	回答数（回答率）
事務系	16（32%）
相談室	15（30%）
保健所	13（26%）
その他	6（12%）

表一2 職種

選択肢	回答数（回答率）
事務	19(38%)
保健師	13(26%)
MSW	9(18%)
看護師	6(12%)
その他	3(6%)

表一3 講演会の理解について

選択肢（4件法）	回答数（回答率）
よく理解できた	22(44%)
理解できた	26(52%)
あまり理解できなかった	2(4%)
理解できなかった	0

＜記述内容＞

- ・実際の取り組みを知れてよかった。
- ・令和8年度開始の制度説明会を希望する
- ・費用・病床調整等の課題がある
- ・ケアブックやFAXは利用できないか

ご協力をありがとうございました。

難病医療従事者講習会について



＝終了報告＝

＜第5回＞

配信期間：令和8年1月5日（月）～令和8年2月27日（金）

テーマ：ACP とは何か

講師：まちの看護相談室 り～ぶ代表 番匠 千佳子先生

申し込み数：149

アンケート結果：とても自分の学びになった 90.9%

どちらかといえば学びになった 9.1%

記述（抜粋）

- ・自分のこととしても参考になりました。
- ・ACPの中で選択した結果とともに、その理由を聞くことが大切だと感じました。
- ・ACPに関わる医療者の心情についても知り実践を身近に感じました。

講習会アンケートに記載下さいましたご質問の回答は当室HPをご覧ください。

[神経・難病センター 難病診療連携コーディネーターからのお知らせ | 浜松医科大学医学部附属病院](#)